

梅津五郎

没後10周年  
記念企画

当館収蔵作品に加え、梅津家所蔵の大作「新宿の夜の灯」他  
小品、デッサン、スケッチ帳、色紙などを展示。  
梅津五郎のアトリエのイメージも再現！

# 梅津五郎の 世界展 熱き血潮の画家

2013年 5月18日(土)~6月23日(日)

開館時間: 9:00~19:00

休館日: 月曜日

白鷹町文化交流センター あゆむ AYU:M

観覧料 一般個人200円 高校生以下 無料

祖父梅津五郎作品と白鷹に捧げる  
梅津香織・文屋小百合  
ソプラノ・デュオコンサート

5月26日(日) 14:00開演  
13:30開場

入場料/一般 前売券2,500円(当日券3,000円) ※全席自由



主催/梅津五郎没後10周年記念企画実行委員会、白鷹町文化交流センター

お問い合わせ/白鷹町文化交流センター

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地 TEL.0238-85-9071

うめづ ころう

**梅津 五郎** 1920(大正9) - 2003(平成15)

1920(大正9)年、山形県西置賜郡東根村(現在の白鷹町浅立)に生まれる。1938(昭和13)年上京し、昼は絵の勉強、夜は姉の飲食店で手伝いをする生活を送る。1939(昭和14)年、帝展特選の洋画家である森田茂に師事し、次いで1941(昭和16)年、森田の師である熊岡美彦の絵画道場を紹介され、入門する。

その甲斐もあり1943(昭和18)年、第11回東光展に《机上静物》が初入選する。しかし翌1944(昭和19)年には、梅津も戦争に召集され、画業は中断される。

戦後の1946(昭和21)年、第2回日展に郷里の山形を描いた《秋》が初入選する。以後、東光展と日展とが主な発表の場となる。1956(昭和31)年の第12回日展では、自らが働く中華料理屋を描いた《調理場》が特選を受賞する。

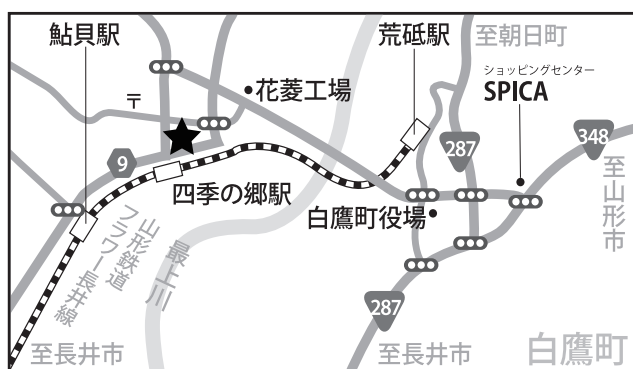
1962(昭和37)年にはフランスに留学し、一転して色彩が豊かで鮮やかになる。1964(昭和39)年の第7回日展では、南仏を描いた《風景》が特選を受賞する。

浅草鳥越から下落合に引っ越した1967(昭和42)年頃から、制作の取材のために日本各地に赴くようになる。滞欧期に培われた豊かな色彩感を活かし、極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは前述の日本各地の風景に加え、アトリエから見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。晩年、郷里の白鷹町に代表作など120余点を寄贈する。

2003(平成15)年、83歳で没する。

表面:建物(サクレクル寺院) 1967



## 白鷹町文化交流センターAYU:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地  
■お車でお越しの場合/山形市より国道348号線で約35分  
■電車でお越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線(荒砥行き)で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分  
shirataka@ayu-m.jp <http://www.ayu-m.jp/> TEL 0238-85-9071

会期中のあゆーむイベント 第14回 うたごえ喫茶あゆーむ

日時:6月2日(日)13:30~15:30

定員:50名

会費:500円(ワンドリンク付き)

申込:必要(あゆーむまで)

伴奏:月のカケラ

主催:白鷹町文化交流センター